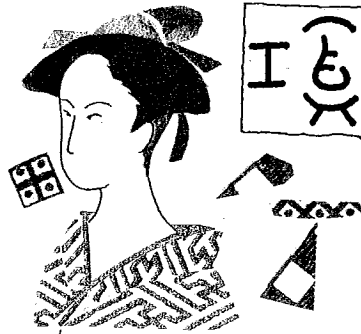


項

おん コウ

12画
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
右へはらう

なりたち 頭部の形を表した頁と、後と同じ音の工との形声字。後頭部(うなじ)を表した字。首すじの意味から転じて、文章のすじ(条文)〃また、簡条・条目の意味に用いられる。



いみじゆく

▼うなじ。首すじ。
▼ものごとを小さく分けた一つ一つ。簡条。
項目：ある事柄を一つの基準によつて分けたもの。
要項：必要なことから。例 応募要項
事項：(あることに)関する一つ一つのことから。例 重要事項・検討事項
項：検討事項
条項：簡条ごとに書きしるしたもの。例 禁止条項
▼数学用語で、数式を組み立てる要素となる数。
同類項：同じ指数を持った複数個の項。転じて、同種類の仲間。例 あの連中は同類項だ。
よみかた 移項・多項式・列

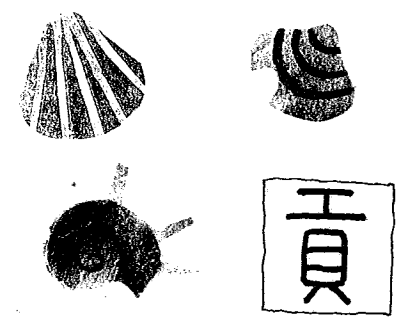
項貢

貢

おん コウ・ク
みつぐ

10画
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
右へはらう

なりたち 財貨の意味の貝と供と同じ音の工との形声字。上に供える財貨という意味の字。地方から朝廷に献上する「みつぎもの」のこと。



いみじゆく

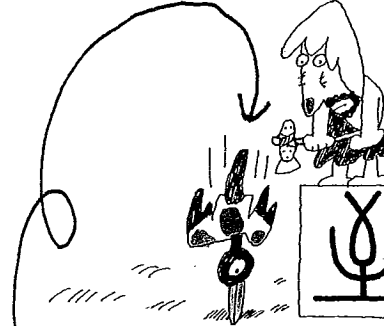
▼みつぐ。みつぎもの。
貢獻：みつぎものを奉ることから転じて、あるものごとの発展に役に立つような何かをすること。例 世界平和に貢献する。
入貢：外国からの使者が、みつぎものを持って来ること。
年貢：年ごとにさしたすみつぎもの。昔、農民が領主に納めた税金や、地主に納めた米など。例 年貢の納め時。(悪人が捕まって罪のつぐないをさせられるのを年貢にたとえていったもの。)
来貢：外国からの使者が、みつぎものを持って来ること。
よみかた 朝貢・貢ぎ物

至

おん シ
いたる

6画
一 一 一 一 一 一
右へはらう

なりたち 飛んでいた鳥が地上に降りつこうとした形を表した字。鳥が地に「いたり着く」ことを表した。「いたる」から「いたって(非常に)」の意味に使われる。



いみじゆく

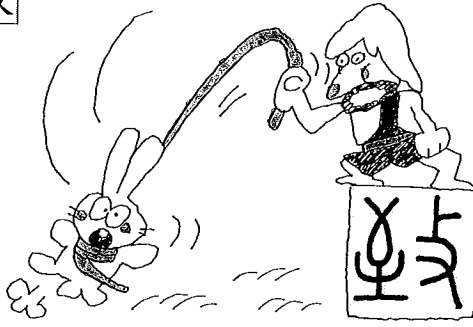
▼いたる。行きつく。
必至：必ずそういう結果に至ること。
▼いたって。非常に。
至高：この上もなく高いこと。最高。例 至高の使命。
至誠：この上もなく誠実なこと。例 至誠の情。
至当：きわめて適当なこと。例 至当な行為。
至極：この上ないこと。例 試合に負けたのは残念至極だ。
至宝：最高の宝。例 学界の至宝。
▼極点。きわまったところ。
冬至：一年中で昼が一番短くなる冬のさかり。(北半球の場合。)
よみかた 至急・至近・至言・至上・至難・夏至

致

おん チ
いたす

10画
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
右へはらう

なりたち 致は手に鞭(むち)などを持つ形で、教や牧に見られるように誘導する意味がある。誘導して至らせること。いたす。音の子は至のなまり。



いみじゆく

▼招く。よびよせる。
誘致：誘いよせること。例 外国企業の誘致を図る。
拉致(らっし)：無理に連れて行くこと。
招致：招きよせること。
▼ある状態にいきつかせる。
致死：死に至らせること。
例 過失致死(あやまって殺してしまうこと)。
致命傷：死に至るほどの傷。転じて、再起できないようになった原因の失敗や損害。
一致：二つ以上のものが同じになること。例 意見が一致した。
合致：ぴったり合うこと。
極致：達することのできる最高の状態。例 美の極致。
▼おもむき。様子。
雅致：風流なおもむき。
よみかた 送致・風致

至致